

「ふくみらい」の生育診断指標の確定

福島県農業試験場種芸部
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－生育診断予測
分類コード 01－01－25000000

2 担当者

荒井義光・齋藤 隆

3 要旨

「ふくみらい」の中通りにおける栽培法および生育診断指標を確定した。

- (1) 高品質で良食味な「ふくみらい」を生産するためには、最適な㎡当たり粒数を35,000粒とし、そのための施肥法は、基肥窒素量が「ひとめぼれ」並の0.6kg/aで、追肥は、減数分裂期に窒素量で0.2kg/a程度が適量である。
- (2) 幼穂形成期の生育は、倒伏防止のため、葉色（SPAD値）が41以下で、草丈が66cm以下にする必要がある。
- (3) 本指標は、高温・多照年や低温・寡照年でも適応が可能である。
- (4) 玄米重は、㎡当たり粒数が増加するにつれて増加する傾向がみられた。また、玄米蛋白質含量は、年次間による差が大きかったが、㎡当たり粒数が増加するにつれて高まった。

4 その他の資料等

なし